

令和4年度 真備地区復興懇談会における主なご意見について

令和4年3月に改定した「真備地区復興計画」の復旧・復興の取組状況を住民の皆さまにご説明し、ご意見をお伺いするため、令和4年度真備地区復興懇談会を10月9日（日）に、マービーふれあいセンターで開催しました。

約80名の方にご参加いただき、お伺いした主なご意見は、次のとおりです。

〔方針1〕 経験を活かした災害に強いまちづくり

- 堤防道路などの交通安全対策をしてほしい
【市回答】交通量調査などの現状把握を通じて、警察等と協議を行いながら、必要に応じた通行者の安全利用に努めていく
- 河川工事（国・県）の進捗を教えてください
【国・県回答】河川工事の完成は、令和5年度末（令和6年3月末）を目指して進めている
- 小田川で堤防拡幅されていないところは、どうなるのか
【国回答】対象11.5kmのうち、現在9.5kmが完成している。樋門等があり改修が必要な区間が残っているが、順次着工する予定
- 高梁川の堤防強化（川辺）の進捗を教えてください
【国回答】既に令和3年度末で川側の護岸強化整備が完了しており、今後、堤防道路の嵩上げなどに着手する予定
- 河川工事の効果を教えてください
【国・県・市回答】雨の降り方により効果は異なるが、工事完成後は、平成30年7月豪雨と同等の流量が安全に流れるようになる。しかし、激甚化・頻発化する気象状況下では、全国どこでも絶対に水害が発生しないとは言い切れないので、「川の防災情報」等の情報や、市からの避難情報が円滑な避難行動につながるようにしていきたい
- 河道掘削の完了後も計画的な河川の樹林化防止対策をしてほしい
【国・県・市回答】河川点検などにより現地状況を把握し、対策の必要性を判断した上で適宜実施していく。行政だけではなく、地域の皆様とも協力していきたい
- 高梁川の笠井堰を改修して、水位が下がるようにしてほしい
【市回答】笠井堰を固定堰から可動堰に改修してもらうため、現在、国に要望をしている
- 「まび水辺の楽校」の復旧がどうなるのかを教えてください
【国・市回答】高梁川の堤防強化工事の区間となるため、工事完了後に関係機関と調整していく
- 内水対策用の仮設ポンプの設置を継続してほしい
【市回答】仮設ポンプの設置は、小田川合流点付替え事業の完成まで継続し、その後、事業

の効果を考慮しながら、災害対応について引き続き検討していく

- 河川水位をわかりやすく確認できるようにしてほしい

【国・県回答】「川の防災情報」で水位計のデータを確認できる。水位計の増設については、河川工事完了後の水位状況や地域の皆様のご意見も伺いながら検討していく

※危機管理型水位計は、河川の水位が一定の水位以上に上昇した時から観測を開始しデータを表示するようになっている。川の防災情報では平常水位（観測開始前）の場合は、水位計マークを水色で表示し、観測が開始された段階より、観測水位の危険度に合わせて橙色、紫色、黒色と変化するようになっている

- 水害伝承を進めてほしい。復興防災公園（仮称）でも活動できるようにしてほしい

【市回答】平成30年7月豪雨の経験を共有して、災害時の早めの避難に繋げていくことが大切だと考えている。復興防災公園（仮称）は、今後の現場視察や防災教育の場としても活用できるようにしていきたい

- 水害時の一時避難所を設置してほしい

【市回答】浸水想定区域外へ早めに避難することを基本としてほしい。やむを得ず、逃げられなかった場合に備えて、小学校・中学校・高等学校の校舎の上層階を一時的に利用できるようにしている。今年度からは、真備総合運動公園体育館及び第2駐車場と吉備路クリーンセンター（グラウンド）を洪水時の指定緊急避難場所として活用できるようにしている

- 指定緊急避難場所へのアクセス道路を拡幅してほしい

【市回答】災害時に混雑した岡田小学校のアクセス道路の拡幅工事などを実施している

- 「流域治水」を強力に推進してほしい

【国・県・市回答】令和3年3月に、ハード・ソフト一体となった治水対策の全体像をとりまとめた「高梁川水系流域治水プロジェクト」を策定し、流域内のあらゆる関係者と協働して流域治水対策を推進している。地域の皆様のご理解・ご協力をお願いしたい

【方針2】みんなで住み続けられるまちづくり

- コミュニティタクシーの路線変更をしてほしい

【市回答】地域の皆様のご意見を伺い、関係者と調整の上、コミュニティタクシー運営委員会で協議していく

- 空地の雑草対策をしてほしい

【市回答】民地のため、市による直接的な伐採等はできないが、土地所有者の対応改善に向けたご相談をお受けできるようにしたい。地域でも協力し合えるようにしてほしい

- 雨が降ると水害時のことが頭に浮かび怖い。こころのケアに力を入れてほしい

【市回答】引き続き、地域の皆様や関係機関と連携して、こころのケアに取り組んでいく

- 屋外拡声塔からの防災行政無線は、大雨時に聞き取りにくい

【市回答】屋外拡声塔の老朽化や遮音性の高い住宅の増加により、聞き取りにくい場合もあるため、今後の対応を検討している。気象状況等により聞き取りにくい場合は、テレ

ビ・ラジオ・緊急告知FMラジオ「こくっち」や携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール、倉敷防災ポータルなど、様々な手段で避難情報を伝達できるよう努めている

〔方針4〕地域資源の魅力を伸ばすまちづくり

【復興防災公園（仮称）に関する事項】

- 駐車場の整備について教えてほしい
【市回答】公園全体では、現在のところ約200台の駐車を想定している。また、芝の部分などは、避難時にも広く利用できるようにしていく
- 桜並木の整備について教えてほしい
【市回答】桜並木は、苗木からの管理になるので、種類や土壌にも配慮して検討していく。植樹にあたっては、市民参加型の検討もしていく
- 建屋の整備に用いる竹材の利用方法を教えてほしい
【市回答】真備の竹を構造体ではない仕上げ材で、雨のあたらない部分に使用する予定
- 障がい者用のユニバーサルデザインに配慮したトイレを増やしてほしい
【市回答】公園の利用面積などで、設置数が限られてくるが、公園利用者の方が使いやすいようにしていきたい
- 公園の名前はどのようにして決めるのか教えてほしい
【市回答】公募による名称決定を検討する予定
- 災害時の避難場所の利用方法を教えてほしい
【市回答】浸水想定区域外へ早めに避難することを基本としてほしい。やむを得ず、逃げられなかった場合に備えて、小学校などの建物の上層階を浸水時緊急避難場所として利用できるようにしているのと同様に、逃げられなかった人が車で一時避難したりできるように、広場やトイレを整備する検討をしている。公園へのアクセス路も、避難しやすいように整備していく

〔方針5〕支え合いと協働によるまちづくり

- 若い世代が真備に戻って来られるような環境づくりをして頂きたい
【市回答】今後も真備の魅力を全国に発信していきたい
- 復興懇談会を開催してくれてありがとう。国・県・市の丁寧な回答にも安心した
【国・県・市回答】今後も、真備地区の皆様のご意見を伺い、一日も早く安心して落ち着いた生活を取り戻していただけるよう、復旧・復興に向けて全力で取り組んでいく

【問い合わせ先】

<国土交通省に関する事>

中国地方整備局 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所
代表 086(697)1020

<岡山県に関する事>

岡山県 備中県民局 建設部 河川激甚災害対策班
直通 086(434)7157

<倉敷市に関する事>

倉敷市 建設局 災害復興推進室
直通 086(426)3460